

第18回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

令和3年7月12日午後3時00分、東京都渋谷区渋谷2-12-15日本薬学会長井記念館の(一財)医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会議室において、WEBシステムも併用して理事会を開催した。

出席理事・監事

会場：代表理事 豊島 聡

WEB：理事 梅津光生、理事 甲斐克則、理事 柏谷祐司、理事 楠原英雄、理事 楠原洋之、理事 久芳明、理事 佐藤典宏、理事 堤康央、理事 成川衛、理事 日吉裕展、理事 宮島光志、理事 山崎力、理事 山本晴子、理事 矢守隆夫、理事 若生治友

監事 笠貫宏、監事 山本雅俊

代表理事豊島聡が議長として開会を宣言し、WEBシステムによって出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっていることを会場及びWEB参加の理事・監事全員で確認したうえで、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 20名

出席理事 16名

一 決議事項

第1号議案 令和2事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、令和2年9月に社員総会を開催したこと、同年7月及び9月に理事会を開催したこと、同年9月に第10回学術大会を開催したこと、学会シンポジウムについてはWEB開催とし、合計6回開催したこと、学会誌については第10巻第3号、第11巻第1号及び第2号を発行したこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第2号議案 令和3事業年度事業計画に関する件

令和3事業年度事業計画に関する議案につき、事務局から、学術大会やシンポジウム等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施したいこと、ただし、本年9月の学術大会については、新型コロナウイルス感染症の現状などに鑑み、WEB開催とすることとしたこと等の説明があった。

学術大会の大会長を務める梅津理事から、WEB開催でやむを得ない、開催の実績を残すことが重要と考えている旨の説明とともに、大会成功に向けて協力をお願いがあった。それ以外に、理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第3号議案 令和3事業年度予算に関する件

令和3事業年度予算に関する議案について、事務局から、令和2事業年度については学術大会は定員の半数としたため財政的には厳しい運営であったが、WEBシンポジウム

6 回を開催したこと、持続化給付金の支給を得たこと等の要因により単年度でみると 200 万円程度の黒字、累積では 280 万円程度の繰越と見込んでいること、令和 3 年度については、会費収入については前年度とほぼ同額、学術大会・講演会等の収入及び支出並びに機関誌出版費については過去 3 か年の平均で見積もったこと、事務局業務委託費については 29 年度に見直しを行ったこと等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

なお、決算書類等については、税理士のチェック、監事の監査を受けたものを 8 月の理事会に諮るが、本理事会はメール開催とすることで了解された。

第 4 号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を令和 3 年 9 月 18 日に WEB 開催したいこと、議題は令和 2 度事業報告や同年度計算書類等の承認を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第 5 号議案 理事候補の選出について

本議案につき、事務局から、本年 9 月の定時社員総会の終結をもって、現在の理事のうち、再任 3 回の大野理事、楠岡理事及び堤理事の 3 名については、定款の規定に基づき、任期が満了し、かつ、再任できないので、同総会において新しい理事を選任する必要があること等が説明された。また、本学会は、産学官のバランス、学の中における医学、薬学等のバランス、地理的なバランス、また、社会人文科学系をも包含するというような特徴があつて、理事の選任についてもこのような点に配慮されてきた経緯がある旨、追加で説明された。理事から特段の意見はなく、議長から、これまでの経緯にも配慮し、候補者の案を作成し、本人の内諾を得たうえで、あらためて、8 月の理事会に理事候補の案を提案し、審議いただくことが提案され、全員一致によりこれを承認した。

二 報告事項

1 学会の現況の件

本年 6 月 1 日現在の学会の会員数が 952 名（正会員 830 名、若手会員 81 名、学生会員 41 名）であること等について報告がなされた。

2 第 11 回及び第 12 回学術大会の件

本年 9 月 17、18 日に開催予定の第 11 回学術大会について、プログラム等が紹介されるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況などに鑑み、WEB 開催に変更すること等が報告された。理事から、ポスター発表の方法につき質問があった。事務局から、未だ検討中ではあるが、ZOOM MEETING の BOR（ブレイクアウトルーム）機能を使って、演題ごとに部屋を作り、その部屋に PDF ファイルを掲示、一定時間の発表者と参加者の WEB を通じたやり取りなどを検討していることが報告された。また、理事から、優秀ポスター賞について、従来は投票による選出、自分としては WEB 開催とはいえ、投票による選出が望ましいと考えるが、その実施可能性につき質問があった。事務局から、いまだ検討中であつて、会員による投票ではなく、非会員を含む参加者による投票という

形になるが、ZOOM MEETING の投票機能を使って選出できないか検討中であることが報告された。

また、第 12 回学術大会については、令和 4 年 9 月 9、10 日に一橋大学一橋講堂において開催することとし、その大会長の選任については、代表理事を中心に作業を行い、8 月の理事会に諮ることとされた。

3 その他

理事から、特段の発言はなかった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後 3 時 45 分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 42 条第 2 項の規定に基づき、代表理事及び監事が記名押印する。

令和 3 年 7 月 2 1 日

レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 豊島 聡

監事 笠貫 宏

監事 山本 雅俊